



単身シニア女性の貧困を考える 地域円卓会議

沖縄の単身高齢女性の貧困の現状を知り、みんなで向き合うための円卓会議

実施報告書

日 時： 2018年12月18日（火）18:00-21:00
場 所： 沖縄県立図書館 3F ホール（那覇市泉崎1丁目20番1号（カフーナ旭橋A街区内））
主 催： 公益財団法人みらいファンド沖縄
協 賛： 宗教法人真和苑
協 力： NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成
NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

ACTIVITY REPORT

【報告】 単身シニア女性の貧困を考える 地域円卓会議



- 日時：2018年12月18日(火) 18:00-21:00
- 場所：沖縄県立図書館3Fホール
- 着席者数：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
- 来場者数：24名（地域住民・行政・企業）
- 主催：公益財団法人みらいファンド沖縄
- 協賛：宗教法人真和苑
- 協力：NPO 法人まちなか研究所わくわく
- お問合せ：NPO 法人まちなか研究所わくわく

論点提供

大矢 さよ子 氏 (わくわくシニアシングルズ 代表)

沖縄の単身高齢女性の貧困の現状を知り、 みんなで向き合うための円卓会議

「地域円卓会議」は、地域社会において多様な主体が連携することをめざし、テーマ（課題）を共有し、アイデアとネットワークを持ち寄り対話の場です。企業・行政・地域・学識・メディア等、多様な見地を有するメンバーが一同に会し、提示された課題の解決をめざして議論します。今回の地域円卓会議では、平成22年版男女共同参画白書において、高齢女性における単身世帯の相対的貧困率は52.3%であることが報告されていることもふまえ、沖縄における単身高齢女性の貧困の現状を共有し、みんなで向き合うために必要なことを議論していきます。

センターメンバー



大矢 さよ子
わくわくシニア
シングルズ 代表



秋吉 晴子
しんぐるまざあず・
ふおーらむ沖縄 代表



仲里 昇吾
那覇市地域包括支援
センター城西 所長



高野 大秋
那覇市社会福祉協議会
地域福祉課 課長



黒島 美奈子
沖縄タイムス 社会部
デスク兼論説委員

■参加者によるサブセッション

「単身シニア女性の貧困を考える 地域円卓会議」(原文のまま)

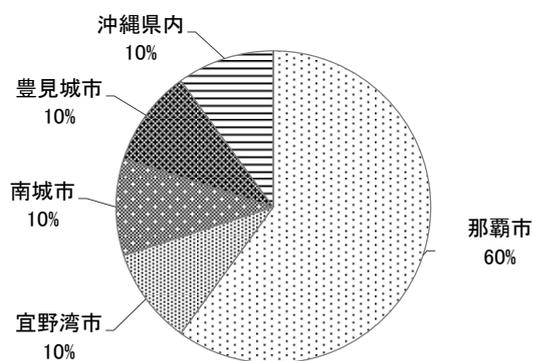
- ① ・ 85才以上からのバクダン
・ 年金でなぜ暮せないこの社会
・ 負の連鎖
・ 市民が知事
 ↑なぜこうなっているのか
 頼りたくない 頼ってもよい社会
・ 現状を調べて共有市民
・ 現状や制度を知ってもらい市民から声を上げる
- ② ・ データの分析視点、用語の意味
 ↑再考必要
・ 制度崩壊している！？
- ③ 気づき
・ 沖縄高齢者
・ 孤立しやすい！
・ 建物が鉄筋の構造
・ 周りの音きこえない
・ 外との交流できない
・ 男性早く死んでしまう 沖縄1位
・ いいひとじゃないと交流できない
・ リタイヤからの交流が難しい
・ シングルマザーの時間ないから交流できない
☆交流の時間をどう作ってあげられるか
- ④ ・ 図書館でも見かける
 ↑居場所になっている
・ 身近にいる20代で予備軍になっているような事例
・ 沖縄では仏壇を継ぐのが男性であり、その男性を支えることが多い。しかし、同じように女性を支えることはないのでは？
・ シングルマザー、母子家庭は子ども中心の支援という見方があったが、長い目で見ると、シニア女性の貧困という問題がある
 ・ 賃貸の連帯保証人が見つからないことも
- ⑤ ・ 高齢の両親と同居している近い将来、家を出るが、地域との関わりが少ない両親が心配
 ・ 働きたい意欲はあるが、社会に出られない世帯の実態がまだまだ認知されていない
 ・ 当事者たちの“生の声”をもっと聞き取り、広く共有していく必要がある(数値データ、統計)
- ⑥ ・ ニュータウンの同時老化
 →貧困で自治会費払える？
・ 単身シニアのコミュニティ
・ 農地は資産に算定
・ 福祉の世話になりたくない！
 →地域がマイナスに
- ⑦ ・ 社協さんとのつながり
 ・ 生保c wとのつながり
 ・ 老人と社協のつながり
 ・ 予算があるはずなのに上手く使いきれてない！
 ↑上記3点知られていない
- ⑧ ・ 真和志第3民事協がたすけあい見舞金申請件数多い
 ・ カラオケが人気で人が集まる
 ・ 民生委員の役割(状況把握)
 ↑包括よりハードル低い大きい。地域の民生委員には知られたくないので外へ相談
- 課題 ※家族になりきれない地域の仲間
 自宅があるのに強迫観念でそこに住めずにさまよう問題

単身シニア女性の貧困を考える 地域円卓会議 参加者アンケート集計

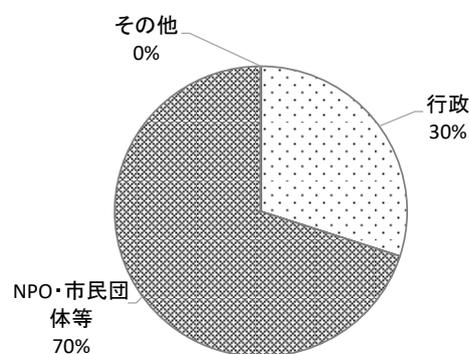
◆概要

- ・日時：2018年12月18日(火) 18:00-21:00
- ・場所：沖縄県立図書館 3F ホール
- ・着席者：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・参加者：24名（アンケート回収10名、回収率42%）

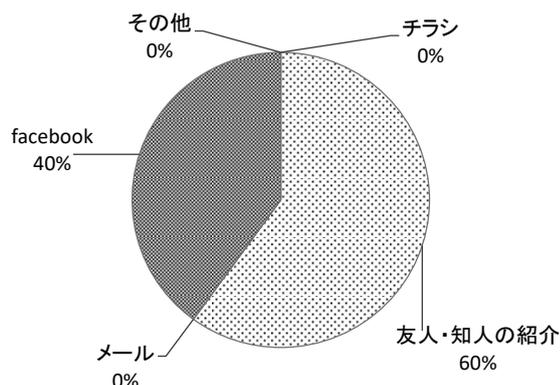
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：4.3（5点中）

5.満足	4.概ね満足	3.普通	2.あまり満足していない	1.不満足
3名	7名	0名	0名	0名

5. 満足度の理由

（5. 満足）

- ・初めて知ることが多かった。
- ・初めての切り口であげていただいて良かったです。貧困の連鎖をどこで切るか。社会全体で課題を共有、生きやすい世の中にしていきたいです。多様な生き方を！
- ・母子家庭で育ったので、ピンポイントで感心のあるテーマだったから
- ・様々な分野の方々・当事者の話を聞いて良かった
- ・大きな課題なのに、社会課題になっていないテーマを拾いあげている点が満足した理由

（4. 概ね満足）

- ・これまで取りあげられなかったでもとても必要なテーマだった！！これまでがいかに不十分であったか(ギロンがなかったか)も思いしらされた。他人事ではない
- ・現役時からの貧困、稼げない社会構造の問題をよく解った
- ・地域の雇用促進事業に携わっている。企業と地域求職者のマッチングのヒントになるのではと参加しました。シングルマザーや、シニア単身女性の実態を知る良い機会となりました。ありがとうございました
- ・負の連鎖の知られざるパーツが見えてよかった。数字が多かったけどグラフとかがまにあっていなかった点が残念
- ・単身貧困シニア女性の現状について苦しくなるくらい良く分かった

5. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ 母子世帯、女性の貧困率の高さ
- ・ 気になるテーマをあらためて深掘りできたので、よかったです。(これからもっと深刻になると思うので早めに社会運動として世論喚起がおこしていければよいと思う)
- ・ 働き方を考える。企業の個人への支援から時間確保
- ・ 若いうちに地域包括支援センターにつながっておく(ボランティア等) →将来自分に返ってくる
アンケートの回答にあった「人に頼ってまで長生きしたくない」というのが同感。希望が見えない老後(やがてすぐくる)
- ・ 貧困の中にいると健康に関することまでは、いきつかないと思います。もっと隣人の事を心配してあげられる優しい共生社会にする為に、小さな気づきを円卓会議で取り上げ続けて下さい
- ・ 現状を可視化して広く知らせるところからはじまる頼っても良い雰囲気を作る
- ・ 支給後どうなっているかを追跡することの重要性
- ・ 交際費がないと、つながりを作るのも困難な場合があること
- ・ 持ち家は高齢者にとっては、負担になりうる(実感している)
- ・ 個人がいかに地域とつながっていくか活かせる情報発信と着信のシステムづくり

(写真) 会場の様子



